

「立志式に携わる中学生との語る会」

日時：3月9日（日） 午前10時から（会 場：区役所1001会議室）

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
この立志の宣言を書くにあたり、私は、まだはっきりとした夢を持っておらず、行き詰まっていました。 そんな中、ある本で「雨垂れ石を穿つ」ということわざに目をひかれ、調べてみると、小さな雨粒でも年月を積み重ねていけば、いつかは石を穿つような大きな水の流れになるという意味だと知り、このことわざを努力に置き換え、日々の生活から研鑽を積み重ねていきたいと思いました。 目標を掲げた以上、このことわざに恥じぬよう、努力していきたいです。	「雨垂れ石を穿つ」、今発表してくれたように、「小さな努力でも根気よく続けてやれば、最後には成功する」ということわざです。 今後、具体的に「こういう職業に就きたい」や、「こういう進路に進みたい」という大きな目標ができると思います。そのときに大事になってくることは、小さな目標を立てて、1つずつ取り組んでいくことです。時には、自分にとって苦手なこともあると思いますが、それを乗り越えられれば、自分の夢や目標に一步近づきますし、自分の成長にもつながります。 今回、「日々の生活から研鑽を積み重ねていきたい」と発表してくれたので、どんな困難にも立ち向かって行けると 생각합니다。これからも、このことわざを胸に頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私の将来の夢は、国内にある外資系の会社で働くことです。そのきっかけは、お父さんのふるさとのインドネシアのバリ島に帰省した時のことです。そこで日本とバリ島での生活の仕方に違いがあり、他の文化も見てみたいと興味を抱くようになりました。 本格的な夢になったのは、私が小学校高学年のときに何気なくつけたテレビ番組で、外資系についていろいろと取り上げられていたからです。様々な文化に触れ、語学力の向上をさらにしたいと考えているので、私に合っていそうだなと思いました。 しかし、今のままでは外資系の職に就くのは難しいと思います。そのため、私は残りの中学校生活で学習習慣を身につけることや生活習慣を改善することに力を入れ、めげずに頑張っていきたいです。	将来の夢が外資系の会社で働くということで、素敵な夢をお持ちですね。 外国の様々な文化に触れると日本との違いを感じることができ、自分にとっての“当たり前”が変わることがあります。そのためには、英語などの言語でコミュニケーションが取れたら良いですね。 またそのような場面では、日本に関する質問をされることも多々あります。そのときに答えられるようにしておく、会話も弾みますし、自分にとっても日本という国をより理解する機会になると思います。 外資系の会社で働くためには学ばなくてはならないことも多く、大変だと思います。しかし、将来は日本と外国とを結ぶ架け橋のような人になってもらえたらと思いますので、今後も頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
立志の宣言を書くにあたり感じたことは、自分の今までの経験の中から成長した点、自分のまだ足りない点を改めて知れる良い機会になったと感じました。将来についてじっくり考えたことは多くなかったのですが、この立志を通して考えることができたと思います。 作文を書いて自分の目標を明確にすることによって、それを達成するための強い意思ができ、未来への自分の一歩になったと思います。 この立志の経験があることによって、自分の人生の中で挫折しそうになったときも、目標を思い出して努力を続けられると思いました。	今回の立志の作文が、自分の成長した点と足りない点を知れる良い機会となったようです。また、「人のことを助けられる人になる」ことが目標とのことで、素晴らしい目標だと思います。 人助けをすると、自然と自分も嬉しい気持ちになりますよね。周りの人々に温かい心で接することは、結果として自分自身も幸せになれる道だということを理解しているのは、素晴らしいことです。 人を助けることは、時には難しいこともあるかもしれませんが、今回立てた目標を大切にしてい、努力を続けられるように頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
立志の宣言を書きましようと言われ、私はとても困ってしまいました。私にはまだ、具体的な夢や目標がないからです。 そこで、今まで頑張ってきたこと、考えたことを振り返ってみました。私は明確な目標がないからこそ、将来のために今からいろいろなことに挑戦し、努力していこうという気持ちで頑張ってきました。振り返ることで、両親や先生、ほかにもいろいろな人たちに支えてもらっていたことを再確認することができました。 これからも、支えてくれる人たちに感謝しながら、努力していこうと思います。	まだ具体的な将来の夢や目標がないとのことですが、今から将来のために様々なことに挑戦し、努力しているということは、素晴らしいことだと思います。 また委員会に入ったり、派遣事業の代表生徒になったりして、積極的に様々なことに挑戦してきたようですね。今後もいろいろなことに挑戦をしていく中で、上手くいくことも、時には上手くいかないこともあると思いますが、きっとその経験は自分をさらに成長させてくれるものだと思います。 今回発表してくれたように、周りの人たちへの感謝を忘れず、これからも様々なことに挑戦してってください。そしていつか、素敵な将来の夢が見つかるよう、私も願っています。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
今回の私の立志は、私のこれからの生き方の道しるべのようなものです。 この先の未来、何をすべきかわからなくなったときに自分自身の助けになるように、具体的な職業などではなく、心の在り方について書きました。 私がこの先、どんな人生を歩むのかわかりませんが、もし私が何かに迷ってしまったときは、この立志の宣言が私の助けになってくれると思っています。	今後の自分の“軸”となるような立志の宣言ができたとのことで、素敵な経験になったようですね。 自分の“軸”を持っている人は、自分自身のことをよく理解している人だと思います。おそらく今回、これまでの自分のことをいろいろ考えたり思い出したりして、ご自身のことを理解されたのではないのでしょうか。 また、そういう人は、周りの人と自分の考えが違うことも理解しており、人のことを尊重して大切にできる人だと思います。おそらく、普段からご家族や周りのお友達のことも考えながら生活されているのではないのでしょうか。 これからも今回の立志の宣言の内容を大切にしながら、人のためにも行動できる人になっていただけたらと思います。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は今まで将来の夢がなかったです。好きなものはあってもそれを職にしたいと思ったことはありませんでした。 そうやって漠然と生きていたときに、能登半島地震が起こりました。自分が何もできない悔しさと、犠牲者が出た悲しみから、私は石川県を復興させる目標ができました。 今の私には石川県を復興させることはできませんが、目の前のことを一生懸命行い、いつかもとの景色が見られるようにしたいです。	能登半島地震のときには、東京都と23区が連携して被災地に物資の支援や職員の派遣を行い、台東区からも石川県輪島市などに職員を派遣しました。 地震が起きたときに県内にいらっしゃったとすることで、とても怖い思いをされたと思います。しかし、そのような大変な経験を通して、石川県を復興させるという目標ができたとのことで、逞しく感じました。 地震発生から1年が経ちましたが、現地はまだまだ十分に復興が進んでいないと聞きます。 また、目標の実現のためには、様々な知識や経験を身につけなければならないと思います。しかし、あの地震を経験したからこそ、人一倍その思いは強いのではないかと思いますので、これからもぜひ頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
僕は誰かの目標となれるような人になることが夢です。その夢を叶えるために、その第一歩として立志の作文を書きました。 作文を書くことで夢が明確になり、夢に向かってまず自分が今何をすべきかを考えるようになりました。だから、僕はその考えたことを考えるだけで終わらせるのではなく、しっかりと実行できるように頑張っていきたいです。	「目標とされる人」とは、「人に良い影響を与えられる人」だと思います。我々も「この人みたいになりたい」と思うことがありますが、何かしら良い影響を受けたからこそそのように感じるのだと思います。 将来は歌手として、誰かの「目標とされる人」になりたいとのことで、歌を届けながら人に良い影響を与えていく歌手というお仕事は、素敵な職業だと思います。 今回、立志の宣言をしたことでより強く「歌手になりたい」と思われたのだと思いますので、これからも夢に向かって頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は立志の宣言を書くにあたって、これまでの自分とこれからの自分について考えました。 私は小学6年生の頃、保健室登校でした。その頃は、本当に毎日がつらくて、弱い自分が嫌いでした。そんなとき、同じ保健室登校だった友達の力になれたことがあり、それがきっかけで、もっと強くなり、多くの人の力になりたいと思うようになりました。 「弱い自分から強い自分へ」、そのためにできること、やれることを全力でやっていきたい。その思いをこの立志の宣言にしたためました。	ご自身が大変だった時期でも友達の力になり、今度は「多くの人の力になりたい」と思われているとのことで、素晴らしく思いました。 将来は自衛官になりたいとのことで、自衛官のお仕事は災害時に救援活動を行ったり、時には海外に行って国際平和のために活動したりすることもあり、とても大変なお仕事です。しかしその分、多くの人の力になることができ、やりがいのある職業だと思います。 そして本当に“強い人”とは、自分の弱い部分を理解しつつも、困難に何度でも挑戦できる人だと思います。これからも様々なことに挑戦していただき、将来の夢に向かって頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は立志の作文を書く際、将来の夢であるデザイナーをテーマとしました。 私の両親はデザイナーをしています。「働く人へインタビューをする」という学校の取り組みでも、父に話を聞きました。父は、「デザイナーは人のことを考えて、要望に応える仕事」だと話していました。 その後、福祉関連の施設で職場体験をさせていただきました。最初はわからないことだらけでしたが、利用者の方々に喜んでもらえることができ、私も喜びを感じました。 その経験から、人のことを考えるデザイナーという職業がより身近に感じられました。そして、その夢を立志式で宣言することで、自分の本当にやりたいことを再確認することができました。今後も夢に向かって努力をしていきたいです。	人からの期待や要望に応えられると、とても嬉しいですね。私も区長として、区民の方からの期待や要望に応えられよう努力をし、それが叶ったときには大きな喜びを感じています。 また、ご両親の影響で、デザイナーというお仕事小さい頃から身近にあったようですね。 将来は本に関するデザインをしたいのですが、本屋さんで本を選ぶ理由として「表紙を気に入った」ということもよくあると思います。 デザインの勉強は大変だと思いますが、身近にアドバイスをもらえるご家族もいると思いますので、夢に向かって頑張ってください。そしていつか、ご自身がデザインした表紙の本が、本屋さんで並ぶことを私も楽しみにしています。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
立志の宣言を書くにあたって、私は自身が歩んできた人生を思い返しました。 そのとき、すぐに浮かんできたのがバレーボールのことだったのです。立志の宣言を書いているときも、今読み返しても、やはりバレーボールばかりだった生活は理不尽なことが多く、苦しいことだったたくさんあったと思わずにはいられません。しかしそのおかげで、私は強くなれたのだと言い切れます。 だからこそ、私は逃げずに様々なことに挑戦し、そして今よりもっと強くなりたいです。	バレーボールでの苦しい経験を乗り越えてきたことで、強くなってこられたようですね。 人は皆、嫌いなことや苦しいことに目を背けたくなってしまう。ただ、そのときにちゃんと目を向けるか・向けないかでは、その後の自分の成長に影響してくると思います。初めは上手くいかないことも多いと思いますが、「じゃあ次はこうしてみよう」と考えて取り組むことで、新しい知識や技術が身につく、それが自分の成長にもつながり、最後には良い方向に向かうと思います。 現在、部活のキャプテンを務められていたり、大会でも素晴らしい成績を残されていたりすること、これまでバレーボールに真摯に向き合い、努力してきた結果であると思います。これからも大変なことがあると思いますが、ぜひ挑戦する気持ちを忘れずに、頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
幼い頃、私は挑戦を恐れ、行動を避けていました。しかし「迷ったらGO」という先生の言葉に出会い、行動の重要性を学びました。 その言葉に勇気をもらい、小学5年生で代表委員、中学校では学級委員や生徒会長に立候補し挑戦を始めました。不安もありましたが、成長を実感し、責任感やリーダーシップを学びました。 今でも「迷ったらGO」という言葉は、私の人生の大きな指針となっています。	先生からいただいた言葉を胸に、様々なことに挑戦されてきたようですね。 恐れずに挑戦していくことを表す言葉とのことで、挑戦をすることは勇気があることですし、それが苦手なことであれば、より一歩が踏み出しにくくなってしまうと思います。ただ、その一歩を踏み出せるかどうか、その後の自分の成長に影響してくると思います。 生徒会長になったことで自分の成長をより感じられているとのことで、ぜひその経験を忘れずに、これからも積極的に様々なことに挑戦していってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
中学校生活において大きな行事の1つである立志式を通して、これまでの自分を振り返ることができ、自分の未来を改めて深く考えることができました。 私は昔から努力することがあまり得意ではなく、努力すると心に決めるだけですぐ諦めてしまい、なかなか行動に移すことができない人でした。そのため、たくさんの「後悔」を経験してきました。 私は、これからの人生で努力しなかったことを後悔しないような生き方ができるよう、頑張っていきたいと思います。	立志の宣言が自分自身と向き合い、これからのことを考える良い機会になったようですね。 ご自身が経験された「後悔」をきっかけに、今度は「努力していこう」と思われているとのこと、反省を活かして次に取り組んでいこうとするその姿勢は、素晴らしいと思います。 「努力」は、人生の様々な壁を乗り越えるために必要なものであり、将来の夢や目標を叶えるためにも無くてはならないものです。たとえ小さな「努力」であっても、それを1つ1つ積み重ねていくことで、やがて大きな成果につながると思います。 また、「努力できること」は、その人にとって大きな強みとなります。今回の立志の宣言を胸に、これからも様々なことに励んでいてください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は自分の成長や挑戦の大切さについて考えました。 小学校の吹奏楽部の副顧問の先生から教わった、「何事も挑戦」という言葉が私の心に強く響いています。挑戦することで得られる成長や喜びは、何物にも代えがたいものです。 これから先、つらいことや苦しいことがあるかもしれませんが、諦めずに挑戦し続けようと思います。	今回の発表から、「何事にも挑戦していくんだ」という気持ちがとても強く伝わってきました。そして、そのきっかけとなったのが、小学校の吹奏楽部の先生に掛けていただいた言葉だったとのことで、素敵なお言葉をいただきましたね。 今年度の「中学生海外短期留学派遣」に参加されたとのことで、この事業に参加すると決めるにも、勇気がいったのではないかと思います。しかし、実際に現地を訪れて海外の文化に触れたことで、新しい発見や自分の成長につながったのではないかと思います。 時には挑戦しても、結果につながらないことがあると思いますが、挑戦をした経験は自分の成長の糧に必ずなります。これからも先生からいただいた言葉を胸に、頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は立志の宣言を書き始めたとき、目標がありませんでした。そのため、まず今までの自分の人生について書いてみました。 書いていく中で、私の人生には楽しいときと苦しいときがありました。その2つを比べてみて気付いたことは、「努力を止めてしまうと人生は暗くなる」というものでした。そのため、私はできるだけ楽しい人生を送るために、努力を続けられる人になることを目標として立志の宣言を書きました。 私はまだ目標を達成できていませんが、難しく諦めてしまいたいと思ったとき、立志式で発表したことを思い出して頑張っていきたいです。	今回の立志式が、ご自身の今までの振り返りと、これからのことを考える良いきっかけとなったようですね。 立志式では、「努力を続けられる人になる」という目標に加え、「周りの人を幸せにできる人になる」という目標も発表されたとのことですが、人を幸せにするためには、相手を思いやれる強さが必要になると思います。 「まだその目標は達成できていない」とのことと、これから様々な経験を通じていろいろな力を付けていくと思います。たとえ失敗したことでも、その経験は必ず今後の力になるはずです。 ぜひ今回の立志の宣言で感じたことや思ったことを忘れずに、今後も頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は立志の宣言で将来の夢の舞台女優になるにあたってどんな人になりたいか、そのために何が必要かも考えて話しました。 立志の宣言をして、私は改めて幸せだと気付きました。なぜなら、私には近くに憧れる素敵な大人がいるからです。また夢を叶えるために、全力で応援してサポートしてくれる仲間たちもいます。そしてたくさんの素晴らしい経験ができていることを、本当にありがたくて幸せなことだと思いました。 これからも謙虚、笑顔、優しさを大切に、夢に向かって頑張ろうと思いました。	幼い頃からクラシックバレエを習われているとのことと、将来の夢に向かってすでに踏み出しているところだと思います。 また、近くに憧れの人や、応援してくれる仲間たちもいるとのことと、これは本当に幸せなことだと思います。憧れの人が身近にいれば、自然とお手本にできますよね。「自分も同じようになれるように頑張りたい」と思えると思います。そして、こういった環境にいらっしゃることは、自分の「強み」と言えると思います。 ぜひ夢を叶えて、舞台上で活躍する姿を楽しみにしています。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は、将来の夢である保育士について話しました。立志式の作文を書く際、私には保育士になりたい理由がたくさんあることに気付かされ、その気持ちがより一層強くなりました。 そして立志式を通して、私たちは「どういう人になりたいか」や「どんな職業に就きたいか」など、将来についてたくさん考えることができました。私は立志式が終わった後も将来について考える時間が増えたので、立志式は将来について深く考え始める良いきっかけになると思いました。 さらに、自分の志を宣誓することで、夢に対して前向きに考えることもできるようになると思いました。	学校の職場体験でも保育園に行かれたとのことで、お子さんたちのお世話をする中で、将来保育士になるイメージがより具体的に湧いたのではないのでしょうか。 また、「立志式が終わった後も将来について考える時間が増えた」とのことで、保育士になるためにやるべきことや頑張りたいことなどを見つけて、きっとこれからも前向きに進んでいけるのではないかと思います。 立志式で発表して終わりではなく、今回立てた「ころろざし」を忘れずに、この先も夢に向かって頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
宣言を書いたとき、僕は「愛」の大切さについて考えました。 そこで自分は、人生において「愛」が一番まっすぐで、一番相手に伝わる気持ちであると考えました。 だから僕は、これからの人生において「愛」を大切にしていきたいです。	「愛が一番まっすぐで、一番相手に伝わる気持ちだと思う」と発表していただき、本当にそのとおりだと思います。きっと身近の方からたくさん愛情を受けて育ってこられたからこそ、その大事さに気付くことができたのだと思います。 人に何かを話すときも不愛想に言うのと、愛情をもってその人のために言うのとでは、きっと受け取り方が違うと思います。そしてその言葉を受け取った相手は、今度は愛のある言葉を自分に返してくれたり、またほかの人に愛をもって接したりすることができるかもしれません。 ぜひ、これからも「愛」を忘れずに、大切にしていってほしいと思います。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
僕が立志の宣言を書くとき、いまいち「立志」という言葉の意味がわかりませんでした。だから僕の書いた宣言は、少し的外れな内容かもしれません。 ただ1つ、書いていて気付いたことがあります。それは「学問を続けていきたい」という自分の気持ちです。 将来、どんな仕事をして学問を続けて、成長していける人になりたいです。	「立志」ってなかなか普段聞かない言葉ですよ。今回の立志式で、初めて「立志」という言葉を知った方も多いと思います。しかし今回の作文を通じて、「学問を続けていきたい」ということに気付いたというのは、素晴らしいことだと思います。 「学生生活が終わったら、学びも終わる」と思っている人もいるかもしれません。確かに、「授業」という形の「学習」はしなくなるかもしれませんが、「学び」というものは私も「一生続くもの」だと思います。 ぜひ今の気持ちを忘れずに、大きく成長できるようこれからも頑張ってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は後悔しない選択をしていきたいと考え、10年後の自分に向けての作文を書き始めました。 私は将来の夢を探している最中です。今後自分が夢を見つけたときに、どこかで迷ったり、諦めようとしたりすると考えました。しかしそんなときに、未来の自分に寄り添ってあげられるような作文にしたいと考えました。 未来の自分が大きな壁にぶつかっても、一歩踏みだせるような言葉をたくさん考えて書きました。その言葉が、今後の選択をするときの後押しになったら良いと考えています。	「後悔しない選択をする」というのは、難しいことではありますがとても大事なことです。 人生は選択の連続ですよ。ね。「ああすれば良かった」と思うことや、「ああしなければ良かった」と思うことは今までもあったと思いますし、これからもたくさんあると思います。 しかし、そのときに「何となく」選択するのではなく、考え抜いて選択ができたのなら、たとえ失敗したとしても「次に生かそう」と思えたり、「たくさん考えた結果だから」と、後悔せずに納得できたりするのではないかなと思います。 今はまだ「将来の夢を探している最中」とのことで、ぜひこれからいろいろな挑戦や経験をして、一歩ずつ自信を持って取り組んでいってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
私は立志の宣言を書いたとき、今の自分の努力、目標、足りていないことについて考えました。 私は遅刻をすることが多いので、これから遅刻をしないという目標を立てました。 私は最近まで、家で勉強することがほぼありませんでした。しかし周りを見ると、皆やるべきことに一生懸命取り組んでいるところを見て、私は焦りを覚え、周りに追いつきたいと考えました。初めて勉強した結果、テストの点数を上げることができました。 これからさらに努力を重ね、周りに追いついていきたいと思いました。	立志の宣言を通して、いろいろと自分で気付くことがあったようですね。3年生は受験もあると思いますので、今回立てた目標を大事にして、頑張ってください。 また、周りの友達を見て「自分も追いつきたい」という気持ちを持ったとのことで、とても良いことだと思います。人の良い振る舞いを見習って、自分もそのような人になりたいと思って努力することは、大事なことです。そして、そのように思える人との出会いは、人生の宝であると思います。 今後も少しずつでも良いので、ぜひ努力を積み重ねていってください。

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
僕は、立志の宣言では将来の夢である看護師について話しました。 僕が看護師を目指している理由は、小学生のときに大病を患い入院して、看護師の仕事を間近で見たからです。 この宣言を書いているときに感じたことは、今当たり前前に過ごしているこの日常は、あって当然ではないと思いました。この経験があったから、今の僕があるのだと改めて感じました。 これからも毎日を大切に生きていきたいです。	ご病気もつらかったと思いますが、友達と遊べないことや、家族とも離れることになってしまっていて、とてもつらかったと思います。しかし、入院中に一生懸命お仕事をされている看護師さんを見て、「自分も将来なりたい」と思えることは、つらい思いをされている中ですごく良いことだと思います。 また、「日常は、あって当たり前ではない」とのことで、本当にそのとおりだと思います。日常生活を送っていると、いろいろなことが当たり前前に思えてしまいますよね。しかし、立ち止まって考えると、自分の健康や家族や周りの人の支えがあってこそ、今の「日常」が過ごせているのだと思います。 以前、入院されたことで患者さんとしての気持ちもわかるからこそ、看護師になったときに患者さんに寄り添うことができると思います。ぜひ夢に向かって、頑張ってください。